

2017年3月期 第3四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第3四半期(累計)業績	2016/3期 第3四半期		2017/3期 第3四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	60,247	100.0%	58,483	100.0%	△1,763	△2.9%
営業利益	5,132	8.5%	3,953	6.8%	△1,179	△23.0%
営業外収益	816	1.4%	640	1.1%	△176	△21.7%
営業外費用	1,072	1.8%	667	1.1%	△405	△37.8%
うち支払利息	222	0.4%	293	0.5%	70	31.8%
うち為替差損	698	1.2%	300	0.5%	△397	△57.0%
経常利益	4,877	8.1%	3,926	6.7%	△950	△19.5%
税金等調整前四半期純利益	4,877	8.1%	4,126	7.1%	△750	△15.4%
法人税等	1,400	2.3%	923	1.6%	△477	△34.1%
法人税等調整額	244	0.4%	378	0.6%	134	55.1%
非支配株主に帰属する 四半期純利益	582	1.0%	345	0.6%	△236	△40.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,650	4.4%	2,479	4.2%	△170	△6.4%
為替レート(1USD/円)	119.96		101.12			
為替レート(1ユーロ/円)	134.97		113.36			

左記第3四半期の為替レートは各期9月末TTMレート

≪第3四半期(累計)決算概要(前年同四半期比)≫

【売上高】

前年同四半期比17.6億円(△2.9%)の減収。

≪国内≫

前年同四半期比1.4億円(△0.4%)の減収。新たな分野の電気二重層キャパシタ用の電極シートの販売が伸びたが、軸受生産の海外移管や、船舶向け及び建設機械向け軸受販売が外部環境の影響を受け減少した。

≪海外≫

前年同四半期比16.1億円(△6.0%)の減収。自動車関連では、北米・中国を中心に増加したものの、北米の建設機械向け軸受や、欧州の中小型船舶向けの中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売減少の影響を受けた。また連結累計期間中の円高の影響により円換算後の売上高が減少した。但し現地通貨ベースでは、北米・アジア・欧州とも増収であった。

【利益】

船舶向け及び建設機械向け軸受の売上高減少や、北米等での大幅な増産に伴う先行費用などがマイナス要因となり、営業利益は11.7億円の減益となった。また、経常利益は、9.5億円の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1.7億円の減益となった。

≪配当予想≫

配当に変更はありません。1株あたり年間30円(中間実績15円、期末予想15円)。

通期業績推移	実績			前回予想		今回修正		前回予想比	
	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2017/3期 通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	77,350	85,015	81,400	80,500	84,000	3,500	4.3%		
営業利益 (営業利益率)	7,368 (9.5%)	7,633 (9.0%)	7,114 (8.7%)	5,500 (6.8%)	5,500 (6.5%)	0	0.0%		
経常利益 (経常利益率)	8,063 (10.4%)	8,129 (9.6%)	6,798 (8.3%)	5,500 (6.8%)	5,500 (6.5%)	0	0.0%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (純利益率)	4,735 (6.1%)	4,459 (5.2%)	3,919 (4.8%)	3,200 (4.0%)	3,200 (3.8%)	0	0.0%		
為替レート(1USD/円)	105.39	120.55	120.61	想定100.00	想定115.00	15.00	-		
為替レート(ユーロ/円)	145.05	146.54	131.77	想定110.00	想定120.00	10.00	-		

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2016年3月期第3四半期		2017年3月期第3四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受(※1)	40,375	67.0%	40,412	69.1%	36	0.1%
自動車用エンジン以外軸受(※1)	9,698	16.1%	9,459	16.2%	△238	△2.5%
非自動車用軸受	8,997	14.9%	7,121	12.2%	△1,875	△20.8%
その他(※2)	1,175	2.0%	1,488	2.5%	313	26.6%
合計	60,247	100.0%	58,483	100.0%	△1,763	△2.9%

(※1) 第1四半期連結会計期間より、「自動車用エンジン以外軸受事業」の一部を当社グループ内の事業管理区分の見直しに伴い「自動車用エンジン軸受事業」に変更しており、上記の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

(※2) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等、金属系無関係譲渡事業、ポンプ関連製品事業等を含んでおります。

≪所在地別(前年同四半期比)≫

◇国内

主力の自動車関連売上高は、新規受注や高付加価値エンジン軸受の増加、自動車部品の拡販努力が実り前年同四半期に対して微増収となった。一方、船舶向け及び建設機械向け軸受が外部環境の影響を受け減少したことにより全体の売上高は前年同四半期に対して微減収となった。営業損益では、船舶向け及び建設機械向けの軸受販売減少により減益となった。

◇海外

【アジア】

売上高は、中国・タイを中心に現地通貨ベースでの販売は堅調であったが円高により円換算後の売上高が減少した。営業損益は為替影響もあり減益となった。

【北米】

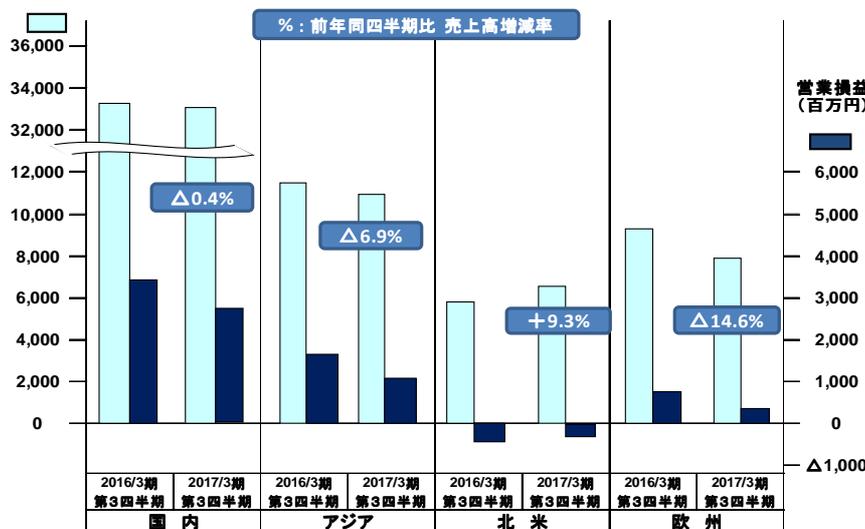
自動車用エンジン軸受の販売拡大に伴い売上高は増加したが、建設機械向けの軸受販売減少や、自動車用エンジン軸受の急激な増産に伴う経費増加などが売上高、営業損益の下振れ要因となった。

【欧州】

自動車関連の売上高は現地通貨ベースでは堅調であったが、欧州通貨安の影響を受け円換算後の売上高は減少した。また、中小型船舶向けの中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売減少も影響して、全体の売上高は減少、営業損益は減益となった。

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

売上高(百万円) 所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前) 推移



主要財務指標	2014/3末	2015/3末	2016/3末	2016/12末	2016/3末比
売上高営業利益率	9.5%	9.0%	8.7%	6.8%	△2.0P
自己資本当期純利益率(ROE)※	13.1%	10.8%	9.0%	7.6%	△1.4P
自己資本比率	37.3%	37.4%	35.8%	31.4%	△4.4P
純有利子負債(有利子負債-預現金)	15,844	17,964	23,237	38,543	+15,306

※ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2016/3期				対前年同四半期比			
	通期	通期	通期	通期	増減額	増減率		
設備投資	10,040	10,838	10,597	14,802	8,665	△2,036	△23.5%	
減価償却費	4,838	5,027	5,744	6,259	4,421	4,706	284	+6.4%